

畜産みやぎ

題 字

宮城県知事 村 井 嘉 浩

発 行 所

仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号

一般社団法人 宮城県畜産協会

電話 022-298-8473

編 集 発 行 人

佐 野 和 夫

印 刷 所

(株)東北プリント



千支《巳》

も く じ

C O N T E N T S

会長年頭挨拶	2
知事年頭挨拶	3
肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度の契約更新がはじまります！	4
令和6年度肉用牛研修会開催のお知らせ	5
令和6年度 野生イノシシにおける宮城県アフリカ豚熱防疫演習について	6
特定家畜伝染病防疫演習を開催しました	6
初乳給与についてチェックしよう	7
畜試便り	8
令和7年度 アカバネ病予防接種の実施について	9
子牛市場上場牛のホスホマイシン使用履歴の公表について	9

衛生便り	10
農業大学校生の抱負	10
馬事畜産振興の活動報告	11
価格安定対策事業の発動状況について	11
人の動き	11
賀春	12



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <https://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



〈会長年頭挨拶〉



一般社団法人 宮城県畜産協会
会長 佐野 和 夫

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元旦の能登半島地震に始まり、東北を含めた日本各地での豪雨災害等、自然災害が多発した1年となりました。被害にあわれた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

現在はコロナ禍から脱し、以前のような日常を取り戻しつつある中、世界的な物価高騰の煽りを受け農畜産物をはじめとした消費低迷の中で、畜産業においてもかつて経験したことのないような厳しい状況となっています。期待したインバウンドによる消費促進はさほど効果なく、依然として牛枝肉価格や子牛価格は低迷しています。全国開催の枝肉共進会では本県種雄牛産子の好成績も伝えられており「仙台牛」は高い評価をいただいております。しかしながら、畜産を取り巻く情勢は、配合飼料や石油製品、生産資材等あらゆる物価の高騰が続き生産費を圧迫しており、畜産全般で厳しい経営状況が続いています。

肉用牛経営では、肥育牛経営安定対策として牛マルキンの交付金は依然として毎月発動されており、黒毛和種の肉用子牛生産者補給金と緊急支援事業としての優良和子牛支援交付金も令和6年度第1四半期から2期連続で交付されました。

酪農経営では、生産費高騰にもかかわらず令和6

年度の乳価は据え置きとなり、また、生産コストの価格転嫁もできないことから、経営難となり廃業する農家が増加しました。戸数、頭数、ともに減少傾向が続いており、これまで経験したことがない程の厳しい状況です。

養豚経営については、飼料など生産資材の高止まりにより経営を圧迫している中でも、枝肉相場は堅調に推移しており、豚マルキンの発動は見られませんが、県内では野生イノシシの豚熱感染が県下全域で確認されており、感染リスクが依然として高く十分な警戒が必要です。

衛生対策としては、県内において11月に高病原性鳥インフルエンザが発生し、17万羽もの肉用鶏の殺処分が行われました。発生から4日後に防疫措置は完了し、12月にはすべての制限が解除されていますが、全国的には昨シーズン同時期の発生件数を超えており、より一層の飼養衛生管理の徹底が必要です。他にも、牛ウイルス性下痢（BVD）が5年ぶりに県内での発生が見られ、九州では国内で初めてランピースキン病が確認されました。いずれも生産性に大きな影響を与えるので、併せてより一層の注意喚起に努めていきたいと思います。

このような情勢の中、本協会といたしましては、国や県等関係機関と連携し、生産コスト削減や経営基盤の体質強化、並びに畜産物消費拡大のための各種支援対策をはじめ、これまでどおり経営支援、価格安定対策、家畜衛生対策、家畜改良の諸事業を実施して参りますので、関係機関及び会員の皆様方のさらなるご支援、ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

今年の干支は巳年、また60年に一度の乙巳（きのとみ）年ということで、「困難な状況であっても発展と成長を象徴する年」と言われています。脱皮をする蛇のように変化、成長の年となりますよう祈念いたしますと共に、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

〈知事年頭挨拶〉



宮城県知事 村井 嘉浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、パリ2024オリンピック・パラリンピックにおいて本県ゆかりの選手が世界の強豪を相手に銀メダル3個、銅メダル1個を獲得する素晴らしい活躍をされ、私たち県民に勇気と感動を与えてくれました。

一方で、夏には記録的な大雨や台風が続き、東北地方においても河川の氾濫や土砂災害が発生するなど、甚大な被害が生じました。亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に改めてお見舞いを申し上げます。

また、畜産分野における昨年一年間は、東京食肉市場まつりの推奨銘柄として仙台牛が選ばれるなど、多くの機会を通じて本県畜産物の魅力を大いに発信することもできました。その一方、11月に本県で高病原性鳥インフルエンザが発生したほか、全国で発生が相次ぎ、その対策強化が必要となった年でもありました。

さて、本県は被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポートに加え、人口減少や少子高齢化、大規模化・多様化する自然災害への備え、依然として続く物価高騰への対応など、多くの課題に直面しており

ます。こうした課題に対応し、「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる将来像の実現に向け、県民一人一人が幸福を実感し、地域の活力を維持しながら持続的な発展を目指していくために、今年は次の3点を重点的に取り組んでまいります。

1つ目は「人口減少対策」です。結婚や妊娠、子育てを望む人が安心して子どもを産み育てられるよう、子ども・子育てを社会全体で支える環境整備を進めてまいります。また、多くの若者が県内に定着できるよう、質の高い雇用の創出や県内就職の促進等を図るとともに、県内企業と外国人材のマッチング支援等を推進し、外国人の確保・定着に取り組んでまいります。

2つ目は「DX（デジタル・トランスフォーメーション）による変革みやぎの実現」です。あらゆる分野でデジタル技術をフル活用し、県民サービスの向上や県内産業の活性化、働き方改革の推進を図ってまいります。特に、県民サービス向上のため、デジタル身分証アプリを活用し、災害時と日常時の両方で利便性の高い県民アプリとしての普及拡大を、市町村と連携して進めてまいります。

3つ目は「半導体をはじめとする成長産業の誘致・育成」です。半導体は、脱炭素や省電力、デジタル社会の実現など、様々な社会的問題の解決に不可欠な技術であり、今後も関連市場の成長や経済波及効果が期待される重要な産業です。このため、ものづくり人材の育成や取引創出等を推進しながら、関連産業の誘致・集積に力を入れてまいります。

宮城の新時代を切り開くという強い思いで、畜産・家畜衛生をはじめとした様々な分野に全身全霊を傾けて取り組んでまいりますので、皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛肥育経営安定交付金制度の契約更新がはじまります！

一般社団法人 宮城県畜産協会

令和7年4月1日より、肉用子牛生産者補給金制度及び肉用牛肥育経営安定交付金制度の新たな契約更新（業務対象年間）が始まります。肉用子牛生産者補給金制度は5年に1度、肉用牛肥育経営安定交付金制度は3年に1度の契約更新となります。各制度の概要と手続き等について記載しましたので、よろしくお願いいたします。

1 肉用子牛生産者補給金制度

(1) 肉用子牛生産者補給金制度とは？

牛肉の輸入自由化による影響に対処するため、肉用子牛の価格が低落し、発動基準となる保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としています。

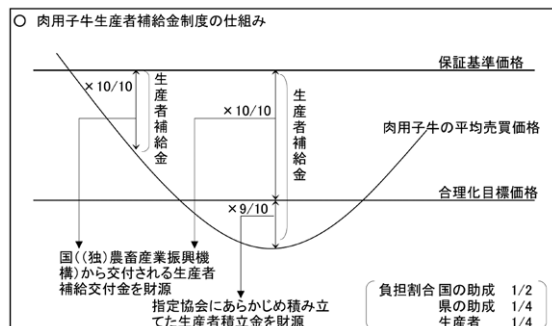
これまでBSEの発生やその他要因により肉用子牛の価格が低落した場合に、繁殖経営のセーフティガードとして機能しています。

(2) 制度の仕組み

四半期毎に農林水産大臣が告示する全国的肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合、その期間中に肉用子牛を販売、自家保留した生産者に生産者補給金が交付されます。

※ 販売とは、所有する肉用子牛を満6月齢に達した日から満12月齢に達する日までの間に販売した場合を指します。（所有権が変わらなければ販売にはなりません）

※ 自家保留とは、所有する肉用子牛を満12月齢に達した日以降、自家保留した場合を指します。



※ 平均売買価格が合理化目標価格から保証基準価格の範囲であれば国の財源で交付、平均売買価格が合理化目標価格を下回る場合は、その差額の9割を生産者積立金から交付する。

① 対象品種：黒毛和種、褐毛和種、その他の肉専用種、交雑種、乳用種

② 保証基準価格・合理化目標価格・生産者負担金等

(令和6年4月1日)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	564,000円	514,000円	328,000円	164,000円	274,000円
合理化目標価格	444,000円	404,000円	258,000円	110,000円	216,000円
生産者負担金単価	400円	1,500円	4,700円	1,700円	800円
手数料	800円	800円	800円	800円	800円

※令和6年度の価格・負担金等になっております。令和7年度は別途通知します。

(3) 制度の加入要件は？

宮城県内で生産される肉用子牛の生産者（肉用子牛を譲り受けて飼養を行う者も含む）で、生産者補給金交付契約を締結することが必要となります。

また、肉用子牛が生後2ヵ月未満までに事務委託先を通じて、個体登録申込みを行い、畜産協会が定める生後5ヵ月の月末までに生産者負担金を納付することになります。

(4) 契約更新等の手続きは？

令和7年4月1日から新しい業務対象年間に移行するため、契約更新がはじまります。また年度途中からの契約もできるため、最寄りの農協等へご連絡ください。

感動を呼ぶ製品をめざして
ORION

ハードシステムとソフトシステム
(ビフォー&アフターサービス)で
あなたの経営を応援。
これがオリオンの思想です。

中央オリオン株式会社

宮城営業所 〒989-6226 大崎市古川新田字泉屋敷59番4号
TEL: 0229-26-4330 FAX: 0229-26-4338



農業共済新聞

次の一手を未来につなげたい



総合印刷企業

株式会社 **東北プリント**

〒980-0822 仙台市青葉区立町24番24号
TEL 022-263-1166 FAX 022-224-3986
E-mail mail@tohokuprint.co.jp

2 肉用牛肥育経営安定交付金制度

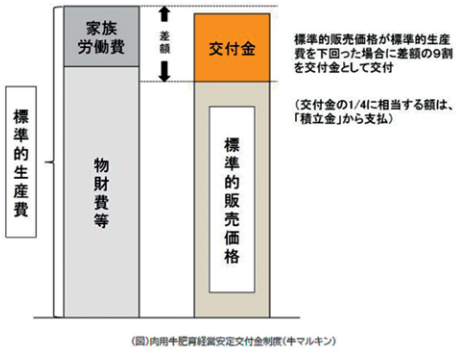
(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度とは？

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）は、畜産経営の安定に関する法律（昭和36年法律第183号）に基づく制度であり、粗収益が生産コストを下回った場合に、肉用牛の生産者に対し、交付金として交付し、肉用牛肥育経営に及ぼす影響を緩和することを目的としています。

(2) 制度の仕組み

月毎に標準的販売価格（粗収益）と標準的生産費（生産コスト）を算出し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付します。

また、交付金の1/4は肉用肥育牛の生産者が納付した負担金で、残りの3/4は国費となります。



令和6年度 生産者負担金（1頭当たり）

	肉専用種	交雑種	乳用種
生産者負担金	19,000円	13,000円	10,000円
手数料	800円	800円	800円

※令和6年度の生産者負担金単価になっております。令和7年度は別途通知します。

(3) 制度の加入要件は？

宮城県内で肉用牛を販売する目的で、肉用牛の肥育を業として行っている生産者で、要件審査申請書を提出し、肥育牛補填金交付契約書を締結することが必要となります。

ただし、資本金の額が3億円を超え、かつ、従業員の数が300人を超える会社、暴力団員等、畜産経営の安定に関する法律その他関係法令に違反し罰金以上の刑に処された者等は除きます。

(4) 契約更新等の手続きは？

令和7年4月1日から新しい業務対象年間に移行するため、令和7年1月23日までに宮城県畜産協会に要件審査申請書の提出をお願いしています。

また、新規に肥育経営する生産者は、業務対象年間途中からの契約もできるため、最寄りの農協等へご連絡ください。

(価格安定課 亀井 和也・経営支援課 庄司 清文)

令和6年度肉用牛研修会開催のお知らせ

一般社団法人 宮城県畜産協会

NOSAI宮城との共催により開催しています標記研修会を下記のとおり開催する事といたしましたので、近隣生産者等お誘い合わせのうえ経営技術スキルアップのため、是非ご参加ください。

記

- ◆ 日 時：令和7年2月27日（木） 12：45 ～ 15：30
- ◆ 場 所：パレットおおさき（大崎生涯学習センター） 多目的ホール
大崎市古川穂波三丁目4番20号
※駐車場スペースが限られているため、出来るだけ乗合せでの来場にご協力をお願いします。
- ◆ 講 演：演題：「黒毛和種繁殖農場における管理について」
講師：宮城県農業共済組合 中央家畜診療センター 診療課 係長 佐藤 めぐみ 先生
演題：「牛伝染性リンパ腫の清浄化対策について」
講師：宮城県農業共済組合 第二事業部 次長 松田 敬一 先生
- ◆ 参集範囲 繁殖牛飼養農家、畜産関係者
- ◆ お問合せ先
(一社)宮城県畜産協会 本 所
TEL：022-298-8473
NOSAI 宮城 第二事業部家畜課
TEL：0229-87-8286



(経営支援課 伊藤 利樹)

令和6年度 野生イノシシにおける宮城県アフリカ豚熱防疫演習について

宮城県農政部家畜防疫対策室

アフリカ豚熱は日本及び台湾を除くアジア全域に感染が拡大しており、令和5年12月、韓国釜山市において野生イノシシでのアフリカ豚熱が確認され、航路を介した国内へのウイルス侵入が危惧されています。

このような家畜衛生情勢の中、令和6年11月6日、宮城県林業技術総合センターにて、本県では初となるアフリカ豚熱防疫演習を開催しました。演習では、東北農政局、宮城県、宮城県猟友会等40人の参加により、県内の野生イノシシでアフリカ豚熱が確認された場合の防疫措置について、国の基本方針に基づく実地演習を行いました。

国の基本方針では、野生イノシシでアフリカ豚熱が確認された場合、発見地点から半径10km以内のイノシシの行動範囲において、少なくとも22日間、死体を搜索し、死体が発見された場合は、発見地点にて検体を採取後、死体を厳重に消毒し、焼却又は埋却により処置することになっています。今回の演習では、山林内からの死体持出が困難な場合を想定して、その場で死体を消毒処理し、野生動物による死体掘り起こし防止のため、死体周囲に簡易電気柵を設置する方法も演習しました。演習は、農研機構畜産研究部門の平田滋樹先生、株式会社パルスの都丸成示先生、アキレス株式会社の井上拓海先生からご助言をいただきながら、死体処理班員として県職員2班体制で行いました。また、サージミヤワキ株式会社の菊池恭則先生からは「電気さくを活用した隔離並びに移動制限対策」についてご講演をいただき、実演もしていただきました。本演習を通しての課題（死体処理班の役割分担や死体処理の方法等）を踏まえ、万が一発生した場合の本県における防疫体制を構築していきたいと考えています。



写真1：研修会の様子



写真2：実地演習の様子

(衛生安全班 佐沢 公子)

特定家畜伝染病防疫演習を開催しました

宮城県大河原家畜保健衛生所

管内における高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱、並びに近隣諸国におけるアフリカ豚熱の発生状況を踏まえると、特定家畜伝染病の発生リスクは依然として高く、予断を許さない状況にあります。そのため、七ヶ宿町、宮城県畜産協会、宮城県獣医師会仙南支部、仙南地域畜産振興協議会の協力を得て、防疫演習を開催しました。

今年度は、基礎研修（10月11日：大河原合同庁舎）として、支部組織の役割の確認、各種特定家畜伝染病発生時の防疫体制の説明、野生いのししに関するアフリカ豚熱対策について、国の基本方針の周知を図りました。加えて実地訓練（10月25日：七ヶ宿町活性化センター）として、七ヶ宿町の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生したことを想定した現地拠点の設置運営訓練を行いました。訓練では、簡易検査陽性の結果を受けてからの情報共有や防疫措置等の流れを確認しました。また、現地施設での初動防疫訓練では、各チームがリーダーの指示のもと、支援センターや農場前テントの設置運営、農場での殺処分デモを実施しました。さらに、初動防疫資材（60人セット）の展示も行いました。

参加者からのアンケート結果では、「アフリカ豚熱防疫対応の困難さを認識した」、「演習の行程や汚染エリアと清浄エリアの再確認ができた」、「農場テントの風対策を考慮した設置方法や手順が参考になった」などの意見がありました。今回の演習は有意義なものとなり、多くの従事者（76名）、見学者（50名）が参加しました。

特定家畜伝染病は、ひとたびまん延すれば畜産業に甚大な被害をもたらすため、迅速かつ的確に対応し被害拡大を防ぐ必要があります。飼養者の皆様には、日頃から飼養衛生管理基準を遵守し、衛生管理区域の設定や消毒の徹底、健康観察、早期発見・早期通報を引き続きお願いします。

(國井 洋)

初乳給与についてチェックしよう

NOSAI宮城

新たな1年が始まりましたが、まだまだ寒さの厳しい日は続いております。

子牛は寒さに弱く、特に生まれたばかりの子牛はあっという間に体温が低下してしまいます。初乳の給与は体温を上げるためやその後の病気を予防するためにとっても大切です。そのため今回は初乳の給与についてお伝えします。

○大切なのは「はやい・おい・きれい」

・はやい

子牛が初乳に含まれる免疫物質を吸収できる能力があるのは大体24時間以内と言われています。寒さで弱った子牛は起立が遅くなり、初乳が時間内に飲めない場合も考えられます。

対策として哺乳ボトルや初乳製剤を用意しておくことで安心です。

・おい

初乳の量も大切ですが、その中に含まれる免疫物質の量が特に大切になってきます。特に初産牛では初乳の総量も免疫物質の濃度も低い牛がいるので、追加で初乳製剤を与えることも一つの方法です。

・きれい

細菌で汚染された初乳を飲むことで、生まれてすぐに細菌感染してしまうリスクがある上に、細菌と免疫物質が腸内で競合して免疫物質の吸収を妨げる可能性があります。

対策として哺乳ボトルの口の消毒を徹底する、親と同居の子牛であればきれいな敷料を多く敷いて親牛の乳頭をきれいに維持しておくことが大切です。

初乳製剤は子牛の状態を見て与えましょう

哺乳ボトル

初乳製剤



初乳が飲めない

初乳が少ない



○できるだけ母牛の初乳を

ここまでのことを踏まえ、初乳製剤の準備をしておくことで安心ですが、母牛の初乳には免疫成分のほかに、成長を促進するホルモンや腸の発達を促す成分などが含まれる事、またその牛舎に特有の病原体に対応した免疫を母牛からもらうことができる事から感染症予防などの理由がない限り、できるだけ母牛の初乳を飲ませるようにしましょう。

初乳は子牛の一生を大きく左右するといっても過言でないほど大切なものです。これから寒くなってくる季節に向けて改めて初乳給与について見直してみてください。

ポイント

- ・清潔な哺乳ボトルや初乳製剤を準備する
- ・初乳が飲めない・少ない時は初乳製剤を給与
- ・敷料を多く敷き、親牛の乳頭を清潔にする



宮城野豚銘柄推進協議会

宮城県産黒毛和種



仙台牛銘柄推進協議会

仙台牛公式
Instagram

6月1日は
牛乳の日
WORLD MILK DAY

宮城県牛乳普及協会

〈畜試便り〉

移行乳サプリメントの生後一週間給与が乳用子牛の免疫状態へ与える影響

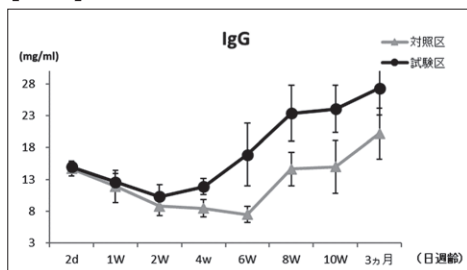
宮城県畜産試験場

子牛の健全な発育には、母牛からの良質な初乳が必要です。子牛は免疫グロブリンを持たずに出生するため、母牛の初乳に含まれる免疫物質を補うことにより、病原体に対する抵抗力を備えさせる必要があります。このことは、牛を飼養する農家は誰しも知っていますが、やむを得ず十分量の初乳を子牛に給与できない場合もあります。今回、出生時に粉末初乳製剤を給与したあと、免疫グロブリンを含む移行乳サプリメントを出生後2日齢から7日齢の一週間給与し、子牛の免疫状態、栄養状態、人工乳摂取量や疾病の発生について調査したので報告します。

【方法】

当場で出生したホルスタイン種雌子牛を、試験群と対照群に分け、両群とも生後すぐに牛初乳粉末製品1袋（免疫グロブリンG 60g含有）225gをお湯で1Lになるように溶解して給与し、その後は、同量を生後6時間目、12時間目、朝夕の給餌時間の合計5回給与しました。さらに試験群は、2日齢から7日齢まで移行乳サプリメントを1日2回代用乳に添加して給与しました。両群とも離乳は6週齢としました。移行乳サプリメントの効果を検証するために、2日齢、1、2、4、6、8、10および13週齢に採血を行い、血液の分析を行いました。また、毎日の人工乳摂取量や疾病の罹患状況を記録し、総治療回数等を集計しました。

【結果】



血清中免疫グロブリンG濃度は、両群とも2日齢で平均15mg/mLであり、受動免疫移行（親から免疫物質をもらっている）ができていると判断されました（血清中10mg/mL以上が基準）。その後、試験群は、6週齢まで平均10mg/mL以上で推移しましたが、対照群の2～6週齢時点の平均は10mg/mL以下でした（図）。

離乳までの人工乳総摂取量については、試験群が平均20,337g、対照群が19,054gと試験群が多くなりました。生後3ヵ月までの総治療回数の平均は、試験群2.8回、対照群3.8回と試験群が少なくなりました。

血液成分の分析の結果、生後4週齢のヘモグロビン値（主に貧血の指標）及び血清蛋白質（栄養状態の指標）は、両者とも試験群が高くなりました。

これらのことから、初乳製剤の延長給与は、免疫グロブリンGの低下を抑え、人工乳摂取量が増加し、栄養状態の改善と疾病の予防につながることがわかりました。

新生子牛の血清中免疫グロブリンG濃度（Sandra Mらが提唱）は、4基準（Excellent、Good、Fair、Poor）に分類されています。Excellentは25mg/mL以上、Goodは18.0~24.9mg/mL、Fairは10~17.9mg/mLで、段階的に疾病発生リスクが上がります。最も悪いPoorは10mg/mL以下で、死亡のリスクが高くなります。対照群では生後2週齢から10mg/mL以下となり、下痢で体調を崩す子牛がいました。現在は研究段階ですが、初乳からの免疫が充分でない可能性のある子牛に対して、本試験に準じた移行乳サプリメント（もしくは移行乳の延長給与）により、免疫グロブリンG濃度の低下が抑制でき、疾病発生リスク回避につながるものと考えられます。

(酪農肉牛部乳牛チーム 福田 純子)

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：総集編 思いが繋ぐ畜産の未来／明るい未来
へ向けて畜産DXの取り組み／乳用牛改良の
取り組み／地域ぐるみで国産飼料生産！
ほか



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

がんばる! 畜産! 8



(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

NAR 地方競馬全国協会

岩手競馬（盛岡・水沢開催）3月 開催予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
3月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
									水	沢						水	沢						水	沢						水	沢

※開催期間中の重賞レース

・3/9(日) 第50回スプリングカップ ・3/23(日) 第50回 あやめ賞 ・3/30(日) 第31回 白嶺賞

令和7年度 アカバネ病予防接種の実施について

一般社団法人 宮城県畜産協会

【アカバネ病とは】

アカバネウイルスを保有するウシヌカカ等の吸血によって感染します。

妊娠牛が感染すると胎齢により、流産や胎児の奇形（脊椎や四肢の湾曲）・大脳欠損などの異常産を引き起こします。

平成22年夏から平成23年春頃に、東北地方を中心に大流行し、宮城県でも死・流産や異常子牛が多数確認され、大きな被害となりました。

毎年実施されている「おとり牛」の抗体検査では、令和4年には北海道で陽転が見られ異常産が報告されています。県内のおとり牛検査では、令和6年度においても陽転は確認されませんでしたが、これまで、概ね10年周期で流行が見られており、また、気候変動に伴う夏場の気温上昇で、東北地方での流行も懸念されています。一方でワクチンの接種頭数は近年減少傾向にあることから、ひとたび流行すると大きな被害となる可能性があります。

アカバネ病は、ウイルスによる病気のため、感染してからでは治療法がありません。被害を防ぐには、ワクチン接種が最も効果のある予防法です。

母牛には、毎年ワクチンを接種して元気な子牛を生産しましょう！

【アカバネ病予防接種の実施】

- ・接種料金：2,200円/頭（改定予定の料金）
- ・接種時期：概ね4～6月が適正です
- ・接種対象：妊娠牛又は授精予定の牛
- ・接種申込：市町村に申込み願います（大崎地域の和牛は農業協同組合に申込み願います）



後肢の奇形を呈した肉用種子牛

【畜主の皆様へのお願い】

- ・事前に牛の健康観察を行うとともに、接種時には、必ず立会い、保定をお願いします。
- ・分娩間際、分娩直後の牛、体調不良の牛については、獣医師と相談の上で、接種するようにしてください。
- ・立会がない場合は、接種できないこともあります。事故防止のため、ご協力をお願いします。

(家畜衛生課 長嶺 結)

子牛市場上場牛のホスホマイシン使用履歴の公表について

全農宮城県本部

E Uにおける牛肉の輸出規制の変更に伴い、出生からと畜されるまでの間に「ホスホマイシン」という抗菌剤が投与された牛は、E U向けに輸出ができなくなります。

本家畜市場では、上記に対応して、令和7年4月以降は、子牛市場申込書並びに飼料給与・ワクチン接種報告書の様式を一部変更した上場牛申告書により、「ホスホマイシン」の使用の有無を確認し、子牛市場へ上場することとなりました。

子牛市場上場農家の皆様におかれましては、申告書への使用の有無の記入、提出をお願いいたします。

新しい上場牛申告書については、各JAの畜産担当窓口に準備していただいております。

なお、県内の獣医師には、宮城県から「ホスホマイシン」使用に関する問い合わせの対応について、協力の依頼をしております。

【ホスホマイシンとは？】

主に子牛の下痢症や肺炎の治療に用いられる抗菌剤であり、使用にあたっては獣医師の処方箋または指示書が必要です。なお、本剤については代替薬が存在します。

①診療獣医師への使用履歴の確認、②自農場に保管している処方箋・指示書等の確認により、「ホスホマイシン」使用の有無を確認のうえ、申告書へ記入し提出をお願いいたします。

(市場流通課 三塚 晃弘)



**国産の牛乳、お肉、卵を
食べてまもう**

畜産物を生産
するためのコストが上昇しています。
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが
生産者の応援に繋がります。



公益社団法人
中央畜産会

中央畜産会 

TEL.03-6206-0840 

東京都千代田区外神田2-16-2
第2ディーアイシービル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

〈衛生便り〉

特定家畜伝染病対策防疫演習について

宮城県東部家畜保健衛生所

東部家畜保健衛生所が所管する登米・気仙沼・石巻の各地域では、高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の特定家畜伝染病発生に備え、毎年防疫演習を実施しています。今年度は10月から11月にかけて計5回の防疫演習を開催し、当所からは所長をはじめ職員が参加し、特定家畜伝染病の発生状況等の情報提供、防護服の着脱の再確認及び防疫資材（宮城県畜産協会から提供されたものを含む。）等の準備をしました。

訓練内容の一例として、石巻地域では、異常鶏の通報から現地地方支部での各種会議開催までの情報伝達訓練に加えて、初動対応訓練として支援センターの設営・運営訓練を実施し、作業員の受付、防疫作業前後の健康調査、防護服等の着脱等を実施しました。また、気仙沼地域では、オートフック（自動で玉外しが可能な吊り具）を用いた玉掛け訓練や、ダンプトラック・バックホーを用いたフレコンバッグの積込・運搬訓練を実施しました。登米地域では、処分豚に見立てた模型を用いて、フレコンバッグへの袋詰、フォークリフトへの玉掛、農場外搬出口への小運搬の訓練を実施する等、いずれの防疫演習も実践を想定した充実した内容となり、参加者は防疫作業時の対応について理解を深めていました。

当所としましても、引き続き対象農家に対して飼養衛生管理基準の遵守について指導し、特定家畜伝染病の発生予防に努めていくとともに、万が一発生した場合においては、まん延防止のための措置を適切に講じることが出来るよう、職員一同心がけてまいります。



写真：埋却溝への石灰散布の様子

(防疫班 土井 敬一)

〈農業大学校生の抱負〉

持続可能な畜産業

宮城県農業大学校 畜産学部 2学年 名木 希良朗



私は、非農家で普通高校出身ですが、担い手不足が問題となっている畜産業の現状を知り、貢献したいと思い宮城県農業大学校畜産学部に入學しました。農業大学校の2年間では、主に肉牛の飼養管理について学んできました。また、1学年の時には、仙台市の酪農経営の牧場で約1か月間の先進農業体験学習を行いました。私の専攻である肉牛ではないですが、乳牛の飼養管理や農家の暮らし、在り方などを学べ、非農家の私にとって貴重な経験を積むことができました。さらに資格取得に積極的に取り組み、簿記や大型トラクター免許、家畜人工授精師といった資格を取得することができました。

日々、畜産について学びを深めていくなかで将来の目標ができました。それは、宮城県内で持続可能な畜産経営に取り組んでいくことです。しかし私には、この目標を実現させるための経営についての知識が足りないと感じました。そこで経営についての知識を深めるために、農業大学校卒業後は大学の経営学部へ編入学をすることを決めました。大学では、特に流通やマーケティングなど現場で求められる実践力を身に付けていきたいと考えています。また、大学卒業後はすぐに畜産経営を始めるのではなく、広い視野で畜産を見るために他産業の仕事に就き、そこで畜産経営をするために必要な資金を貯めながら、勉強していきたいと考えています。この目標を達成するために、貪欲に学ぼうとする力や人として信頼される行動を身に付けられるよう、残りわずかな農業大学校生活を気を引き締めていきます。

馬事畜産振興の活動報告

宮城県地域畜産振興対策協議会

地方競馬の普及啓発及び畜産物の消費拡大を図ることを目的に、馬事畜産振興推進事業（地方競馬全国協会委託）において、以下のとおり普及・啓発活動を行いました。

岩手競馬 畜産フェア

令和6年10月6日（日）、岩手県盛岡競馬場において、東北6県の畜産協会等並びに各県馬事畜産協議会の合同による「畜産フェア」を開催しました。

当日は開門と同時に、先着1,150名様に引換券を配布し、特設ブースにて随時各県畜産加工品の引換えを行いました。畜産加工品のプレゼントに来場者は大変よろこんでいました。

宮城200名：美里ハムミートローフ・あらびきソーセージ

青森200名：青森りんごのたまご

岩手200名：エルンテフェスト熟成粗挽きポークウインナー、
岩手県産豚もも肉焼豚、いぶしの里ももハム

秋田150名：秋田牛極上カレー、比内地鶏スープで食べる稲庭うどん

山形200名：米沢牛ビーフカレー、米沢牛入りさらみ

福島200名：福島牛ビーフカレー、福島和牛ビーフシチュー、酪王カフェオレクランチ・ポップコーン



馬事畜産振興現地視察検討会

令和6年11月18日（月）、岩手県水沢競馬場において、現地視察検討会を開催しました。

JR仙台駅東口より貸切バスにて出発し、車内で地方競馬の概況説明を行いました。現地視察は指定席にて行いました。今回は競馬場が11時開場であったため第1レースから観戦することができ、全12レース中第7レースまで観戦しました。風雨が次第に強まる荒れ模様の中、スリリングな展開の競馬と、目の前を疾走する競走馬の迫力を楽しんだ参加者からは「桜の季節に来てみたい」等の声をいただき、有意義な検討会となりました。



事務局：（一社）宮城県畜産協会

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）の交付金単価

販売月	肉専用種（宮城県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和6年10月（概算払）	(99,251.3円)	—	(35,574.5円)

〈人の動き〉

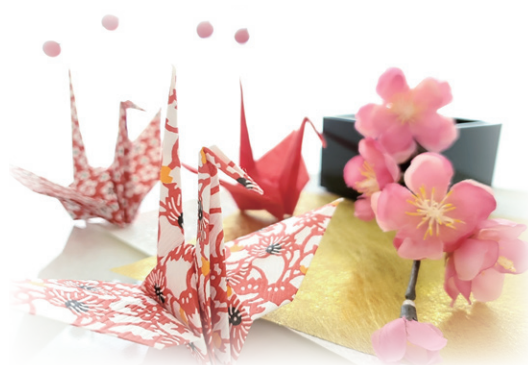
一般社団法人 宮城県畜産協会

依願退職（令和6年12月31日付） 経営支援課技師

佐藤 晃

賀 春

宮城県農業協同組合中央会長	佐野和夫
全国農業協同組合連合会宮城県本部長	都築祐一
宮城県農業共済組合長	品川忠夫
(公社)みやぎ農業振興公社理事長	江畑正徳
みやぎの酪農農業協同組合代表理事組合長	伊藤一成
宮城県酪農農業協同組合代表理事組合長	上野栄公
宮城県家畜商協同組合理事長	渡邊通
(公社)全国和牛登録協会宮城県支部長	郷内弘幸
宮城県ホルスタイン協会長	半澤善幸
宮城県ホルスタイン改良同志会長	千葉義文
宮城県家畜人工授精師協会長	大槻謙喜
宮城県養豚振興協会長	石川輝芳
(一社)宮城県畜産協会長	佐野和夫



宮城県動物薬品器材協会(会員名)

(株)アスコ宮城営業所

仙台市泉区泉中央4丁目19-1 TEL022-347-4138

小田島商事(株)

大崎市古川清水字周防10-1 TEL0229-26-4567

MPアグロ(株)

仙台支店 仙台市太白区富沢南二丁目8-9 TEL022-245-4306

(株)アグロジャパン南東北営業部宮城チーム

仙台市泉区八乙女3-3-1 TEL022-343-5301